いわき民報

發行所
いわき民報社
平市四町目二番地 電話三八一四
編輯發行人 印刷人 千輝克己
日刊（但月曜日を除く）
定價 一ヶ月 [illegible]圓 一部三十錢

新豫算總額八百八万圓

新規事業は公選市長に委ね

當初は骨子のみにとゞめる

市の明二十二年度新豫算案はこの程漸く編成を終つた、市長公選を目前に控えているので當初豫算は骨子のみにとゞめ新規事業等は一切公選市長の手に委ねるので、一千萬圓をはるかに突破するとみられた、總額も八百八萬圓程度にとゞめられたこの中第一國民學校復興關係起債三百五十七萬圓を除くと五百萬程度で本年度當初の百六萬五千九百三十八圓に較べると四百萬からの増額だが現計豫算六百七十六萬三千余圓に比すると百圓からの減額となつている、この新規事業等一切見送りながらこの巨額に達したのは吏員の待遇改善や一般物價の高騰に伴うものである

國税附加引上

三税共百分の五百

物價に伴う豫算の自然膨張は即時税收入にひゞくが市の諸税率も引上げられ國税基本三税營業税、家屋税地租の附加税は從來本税の百分の三百六十だつたものが明年度から百分の五百に引上げられる即ち本税一圓に對し市附加ぜいは五圓となる譯、これに伴つて都市計劃ぜいも百分の三十四から一躍倍の百分の六十八に引上げられることになつた

ラジオ原動機税を新設

この外新ぜいとしてはラジオ受信機ぜいと原動機ぜいが創設をみる受信機ぜいは一台に對し年額九圓、原動機は一馬力に對し年額九圓である

水道また値上

平均九割強の市民ぜいは据置

市民ぜいは大衆の生活え直接の響が大きいので縣や國に於いても引上げを喜ばないのでこれは先づ本年度そのまゝに据置くが、ただ水道料金は諸資材の騰貴等の關係から計畫現在七圓五十錢のものが十圓とされ平均五割強の引上げをみることになつた、大衆の日常生活に密接なものだけに市民のひびきは大きいがそれでも一般の物價から較べたらまだ安いものである、然し水道料は昨春四月に引上げ又十一月に引上げたので今回で三回目の値上げとなるわけ、又火葬場料金も燃料關係等から引上げをみることになつた、

手數料金そのまゝ

なお各手數料等は昨年十一月に引上げ一件一圓としたばかりなので今回は値上げせずに据置れることに決つた

あす豫算内示

市會は二十七日に

市では明年度の骨子豫算の編成を了したので二十六日午後一時から公會堂日本間に市議を招いて新豫算案の内示會を開き、二十七日午前十時から正式市會を召集附議する、當日の提出案は左の通り

二十二年度才入出豫算、二十二年度特別會計公益質屋豫算　市ぜい課徴收條令改正　水道給水條令改正　火葬場使用條令改正　二十一年度決算報告　同上公益質屋決算報告　事務報告及財産表　第一國民校舎建築費繼續年期及支出方法變更

郡申請者は六十余名

選擧期切迫にいよ〳〵賑う

二十四日現在石城地方事務所から立候補資格申請書の交付をうけたものは實に六十余名にも達している、その後の交付分左の通り

錦町會社員田子英夫(三五)上遠野村郵便局長松本一夫(二九)、内郷町高木章太郎(四一)好間村坑夫廣川貞治(四七)鹿島村農佐藤米治(六七)小名濱町農駒木根忠三(六三)勿來町炭鑛職員田畑金光(三四)、内郷町渡邊武藏(五三)

授產所を增築

豫算十六萬圓程度

二十八日に委員會

市では二十八日午後一時から厚生委員會を召集、授產事業の一層の徹底を期するために現在の授產所增築を審議する右は既に計劃されていたが資材關係その他でのび〳〵となつていたものであるが今度增築に適當な家屋の賣物がみつかつたので急速に進工せしめることゝなつたものである右の家屋は平土地住宅が浪江において入手したもので二十四坪の二階建なので四十八坪と隣接空地に建てるに最適のものである、委員會の結果に基いて早急に土地住宅との賣買契約を進めて本年度内に竣工、遲くも六月頃までは完工せしめる段取でいる、國から十二萬程度の助成もあるので十五、六萬圓でものにしたい意向で年度内に着工せぬと折角の國庫補助も水と流れてしまうので市も急いでいる

產婦人科
齊藤醫院
平市南町七五
電話九〇二番

本田署長單身着任

新任平署長本田泉警視は二十五日單身赴任した

大竹警視あす赴任

縣警務課え榮轉の大竹前平署長は二十六日午後一時四十分岩沼廻で單身赴任する

木炭生產上昇

本月は九割突破確實

地方事務所が大皷判

郡の木炭實績は二月に入つてから上昇、二十日現在で二十七萬千二百六十貫に達し七十パーセント台を占めた、本格的な生產は二十日以降であり、二月は九十七パーセント台確實と石城地方事務所林產課では太皷判を押している、同課では生產地の横流れ防止策として集荷所檢査をかまもと檢査としたゝめ意外な好成績を擧げ得るに至つたもの

蛭田氏も資格申請

市内長橋町雜貨商蛭田利光さんは二十三日市庶務課から資格申請書の交付をうけた

宅地。家賣買斡旋
龜田屋商會
平市三丁目

供米報奬しおを

月末から特配

專賣局平出張では供米完遂農家への報奬鹽特配に準備をいそいでいるが、現物は既に屆いており一戸六キロ半の割合で今月下旬から來月初旬にかけ贈ることにした

本年最初の眞症患者

磐崎村長倉に發しんチブス

磐崎村上湯屋字長倉鈴木ヤスさん(四七)は二十二日發病二十四日眞症發しんチブスと決定した本年最初の眞症患者である、平保健署には平署及び村當局と協力警戒中

内郷には疑似患者

内郷町常磐炭鑛新昭療内採炭夫佐藤想三郎さん(三七)は二十四日疑似發疹チフスと決定

平市常會

市常會は二十五日午後一時から公會堂日本間に開いた上、左記諸件を附議した

△縣第一回復興寶くじ發行について△新學制にて付▽憲法普及會縣支部設置について△臨時建築制限令について△遺家族未復員者留守宅及び傷痍者等のため移動班巡回相談について△母子ホーム入居者で申込について△市遺家族援護資金募集について△各種選擧施行について△ム製品配給について

なお區内會の上通事項は左の二件のみである

◎平神橋側に塵芥を捨てないよう徹底されたい(第十八區)◎下水道の整備を行つていたゞきたい(第十九區)

惱む醸造用しお

自家製鹽以外なし

市配給課ではみそ、醬油醸造用の鹽配給に頭をいためている專賣局側の見解はみそ醬油醸造用の鹽まで配給するに未だいたつてないとあり、自家製鹽をたよるよりほかに道はない現狀に達している

やみ船か

中ノ作港で網にかゝる

江名町中ノ作港に去る二十日夜十一時頃こつそり入港した船を不審に思い平署で臨檢したところ無檢査木炭二千三百三十俵とするめ三百貫を積んでいたので目下取調中だが全船は十九日岩手縣久慈港を出帆したもので三井丸と稱し農林省の木炭事務所長を出荷人とし千葉縣寒川港えの送狀をもつだけで闇船とにらまれている

いわき寸言

□市の新豫算案は新事業一切公選市長にゆづり骨だけどいえ八百萬圓突破

□豫算面のみでみると平市も大きくなつたものではある、だがその内容は

□國ぜい附加ぜいの增額はラジオぜい及原動機の新設もやむないとするも水道料の値上げはちつと痛い

□他物價に較べると何でもないというものゝ毎日使う水のことではあり、昨春四月からみると三度の値上げ

□火葬料金も引上げられる、これからはうつかり死ぬことも出來ぬといつたわけ

□木炭の二月生產はかま元檢査がひびいて一躍急上昇とはうれしい限りと申すべし

□鹽のなやみいよ〳〵深く、鹽の闇値もいよ〳〵騰る辛いのは一般大衆のみ

□本年初の發しんチブス發生、御用心を切に祈る

マージャン
一萬（イーワン）
平一丁目聚樂館裏

移轉御知らせ
强制疎開のため平市城山の自宅に於て診療中のところ從前通り驛前に於て診療を開始致しました
高柳醫院
電話九九九番
自宅電話三三六番

急告
本校假校舎賣却の豫定につき御希望の方は二月二十七日（午前中）までに當校に御申込下さい
平市舊城跡
磐城農學校

電話變更御通知
小名濱局 三一七番
今般右の如く電話番號を變更致しました故御通知申上げます
福島縣物產株式會社 小名濱出張所
小名濱町西町六〇番地

急募
一、男子工員 三十名
收入多大熟練者に對しては月收二、〇〇〇圓保證、年齡問はず
いそだま本舗
平市新川町二七
電話七九三番

急告
當組合ノ創立總會ハ公會堂日本間ニ開ク豫定ノ處、次ノ如ク會場ヲ變更致シマシタ御通知ニ代ヘ公告致シマス
日時 二十六日午后一時
會場 平警察署武德殿
平地區商業協同組合發起人會

同胞援護事業資金造成興業
笑の輕演劇……
樂しい輕演劇とおどりの樂園
輕演劇界の最高峰
合同加盟
樂園一行
三十六名
堂々開演
松竹專屬 鈴木桂介 ポリドール專屬 土屋伍一 ビクター專屬 瀧冷子 吉本興業部 小宮凡人 キングレコード 栗山マユミ
一、目的 後援事業資金造成平市御遺族慰安招待
一、期日 昭和二十二年二月二十六、七日 ヒル一時 ヨル六時 開演
一、入場料 前賣十五圓、當日賣二十圓
主催 同胞援護會平市支會
後援 平市役所 民衆劇場

あなたの勤勞所得税は

扶養家族四人でこうなります

税制調査會で二十一日所得税、法人税等の改正要綱が決定され、いよ〳〵四月の新年度から實地されるが、その場合所得税では一律に基礎控除年四千八百圓ふ養家族控除年一人當り二百四十圓で、勤勞所得はこのほか年收三萬圓以下は更に二割を控除するが、これで勤勞階級の負擔はどの程度輕減するか、これを細別にみると次の通りで所得金額年三萬圓の場合を例にとるとふ養家族四人で勤勞所得は税數三千五百五十圓となり、事業所得は千六百十圓となるから事業所得に較べると勤勞所得は二千六十圓も安くなる、なお勤勞所得四萬圓（ふ養家族四人）の稅額七千十圓の算出方法は

一、勤勞所得四萬圓

一、勤勞所得三萬圓以下は二割を控除するのでその控除額が六千圓

二、基礎控除四千八百圓

三、差引課税所得二萬九千二百圓

四、適用税率税額（イ）一萬圓以下の金額に對し二割の税率で二千圓（ロ）一萬圓以上一萬五千圓までの金額に對し二割五分の税率でぜい額千二百五十圓（ハ）一萬五千以上二萬圓迄の金額に對し税率三割で税額千五百圓（ニ）二萬圓以上は九千二百圓に對し稅率三割五分で税率三千二百二十圓

合計税額七千九百七十圓ふ養家族四人の控除額が年九百六十圓

差引課税額七千圓

所得金額	勤勞所得 獨身	勤勞所得 ふ養四名
五、〇〇〇	ー	ー
七、〇〇〇	一六〇	ー
一〇、〇〇〇	六四〇	ー
一二、〇〇〇	九六〇	ー
一五、〇〇〇	一、四四〇	四八〇
二〇、〇〇〇	二、三〇〇	一、三四〇
三〇、〇〇〇	四、五一〇	三、五五〇
四〇、〇〇〇	七、九七〇	七、〇一〇
五〇、〇〇〇	一一、二九〇	一〇、三三〇
七〇、〇〇〇	二一、三一〇	二〇、三五〇
一〇〇、〇〇〇	三七、三一〇	三六、三五〇

製氷も一緒に

日本製鹽完工迫る

期待さるゝ其設備

千三百箇所を數える石城地方の自給製鹽場は燃料不足から生産能力は四割から五割減退し月産四百トンないし五百トンといふ心細い狀態にあるが、既報の如く勿來町の日本製鹽、四ツ倉町の日東製鹽が專業製鹽工場として近く操業開始することになり、いずれも日産十トンの能力を持つ本格的工場なので石城地方の製鹽生産高も一躍月産千トンにはね上ると豫想され鹽不足を緩和するうれしいたよりに日本製鹽勿來工場を訪ねると　一昨年十一月に着工、今月末日に完成する

この工場は來月一日から操業を始めるが製鹽方法は冷凍式で工場の二つに分れ濃縮工場はアンモニヤ壓縮機、九七冷却機百五十馬力モーター各六台と採氷器十八だいが据えつけられている、製鹽工場は製鹽釜六個を備え濃縮工場で鹽分含有濃度を高めた海水を加熱により鹽の結晶を得る仕組になつている、生産高は日産十トンでこのほか濃縮工場から副産的に氷三百トンが産出される、この漁港を持つており一石二鳥である

文化學園作品展を

平市田町磐城文化學園では來る三月一、二の兩日學校內で作品展示會を開催する

開放

投書を歡迎　要望批判とく結構　紙上名可

交通道德

▼終戰後交通道德の亂れたことおびたゞしい時折の交通整理取締りもその場限りでなんのことはない、秩序を失つた人間のさびしさ、敗戰國民の不面目さを遺憾なく暴露している

▼いつぞや本らんにも出ていたが驛前常磐交通のバスの乘客の行列驛前のあの雜踏を極めるところえ二列にも三列にも並んで道をふさいでいるのは見苦しいばかりか、交通上にも危險でならない

▼その行列は何とかならないものであろうか、各方部別のバスの乘口を指定し工夫したらばあの整理位何とかならないであろうか、この點會社側も一工夫してよいと思るが

▼戰時中は學生の列車の乘降も極めて秩序だつていた、ところが昨今列車道德のみだれは學生からというも敢て過言でない程なのは學校當局の一考をはづらばしたい

▼民主々義とか自由義といつてそれも無稀序であり、放任主義であつてよいというものではない、學校當局も協力して各校の先生方が交替で驛あたりで整理訓練をしては貰えないであろうか

▼こんな交通の點位でも滿足にいけない國民が果して再建の力となるであろうか、思えば寂しい極みである、警察當局ももつと眞劍に取締りに當つて欲しいと念願する（WS生）

道路清掃

◎縣の名に依つて街路に道路を淸潔にとの木札がそこゝにはられている、終戰後道路のよごれていることはお話のほかである

◎國民の衞生思想の缺如を雄辯にもの語つているものであるがそれにしても余りにもひどすぎる

◎チョッと市内でも露路に入つたり横丁になると塵埃のすて場としてゴミの山、そして又道路ばたは共同便所のような体裁をみせている

◎冬であるからまだよいもののこれが暑い時だつたらさぞかし惡臭で鼻もちならぬことゝ思はれる、これらを何とか解決の方法はないものであろうか

◎市役所あたりももつと眞劍にこれらの問題を取り上げては貰えまいか、百の秘法よりもこれの解決を市がやつてみせてはじめて衞生思想の向上に拍車をかけるのではないだろうか

◎今後觀光都市としても生きていかんとする點を市民も市當局ももつと〳〵考えてゆくべきであると信ずる、市の御考慮と妙策を示されることを祈る（不知火生）

藥のことならー
キクので評判
ダルマ藥局
小名濱町電222番

待望の漁網用綿系特配

縣下に一躍九千二百貫入荷

漁業家が油とともに頭痛の種となつている網は綿糸の入手難のため新調はもちろん修繕にも事飲く狀態にあつたが今回一般配給用として六千一百貫が割當てられ現物も近く入荷する見込みがつき業者に明るい希望を投げているが今回さらに大都市向け出荷魚の成績がよかつた漁業會に對する特配綿糸として江名漁業會へ千五百貫、小名濱漁業會へ一千貫の配給割當があつた、これで本縣漁業家へは一躍九千二百貫の網用綿糸が入る事になつた

卓球ランク發表

スポーツ連で

濱通りスポーツ連盟ではこの程二十一年の濱三郡下及び郡下の卓球ランキングを左の通り發表した

◆濱三郡◆

一、牛谷敬壽（相馬）二、信澤　要（双葉）三、石田泰藏（相馬）四、鹽瀧（仝）五、澁澤祐（石城）

石城郡

一、澁澤祐二（平倶）二、石上益美（仝）三、山本幸雄（日素）四、酒井忠久（仝）五、瀨尾壽久（平倶）六、新妻政晴（仝）七、矢内政義（常製）八、林長三郎（日素）九、平野宏一（常磐）湯本十、金成衛（勿來）

◆全女子◆

一、石山鹽技（石城）二、水竹秀子（仝）

いわしで醤油

耳よりな廢物利用

（家庭讀本）

しようゆ不足をおぎなう家庭新しようゆ製法が茨城縣立水産學校園教官の手でイワシの頭やハラッタ利用で發明された、家庭ですてているイワシの頭やハラワタを生のまゝ（にたり焼いたりしては不可）約三割の鹽を加えて桶やカメのような容器に入れ約一週間かき回し、また新たなイワシが出來た時同樣の方法で加え其後は密封して冷暗の場所に貯藏し夏を通して完全にはつ酵させ、秋になつてからこれを布でこし魚しうをぬくため砂ごしにかける、この砂ごしは太い竹づつのようなものの一番下に布をしきその上に細い砂その次にワラ灰、その上にまた細い砂をおき全体で三インチ程にしさきの搾液をろ過し、これを三回程繰返えすと殆ど魚しうがなくなる、このろ過液を沸騰させて上に浮んだアワをとり更にしようゆ粕（一番粕なら二割二番粕なら一割五分）を加えてにてこせば立派なしようゆとなるもので普通家庭では二倍にうすめて使え、アミノの酸が多いので丁度味の素を入れたしようゆと同じ風味がありしようゆ粕の代りにカジャショブを用いてもよい

マブシ用ワラ供出

地方事務所蠶糸課では未亡人、遺家族等の授職に製筵を各家庭で行はしめることになつてから急に製造者も上昇し現在では五六十名に達し一人當り七枚平均につくられてゐるので同所では郡下全農家に呼びかけ藁の供出に拍車をかけることになつた

外科　諸橋鐵彌
内科　松本源一
平市鎌田町
金成醫院
電八二六番

目標突破確實

石炭増産は坑木からと地方事務所では郡下各町村にげきを飛ばし關係方面と協力增産に督勵を續けているが去る十一日から二十日までに早くも三千八百六十石といふ好成績を示しているこの分では目標突破は確實と大鼓判を捺している

季節勞務の退山迫る

平勤勞署でも躍氣の充足に

常磐炭鑛に一、〇〇〇名、古河好間鑛に二〇〇名、大日本勿來鑛に八〇名、をはじめ中小炭鑛を合せると約一、八〇〇名の季節勞務者が入山している、この勞務者は農繁期と共に退山するが例年の三月末より早く、今年は雪が少いので三月半ばから退山をはじめる、弟四〻半期の割當一、八〇〇名に完全に集らない矢先とて各ヤマともこの勞務充足に頭をいためている平勤勞署では今同各炭鑛勞務議會を開いて協議の結果今月中に縣下各勤勞署ごとに管內の町村單位の石炭勞務供出懇談會を開き積極的な協力を要請するほか縣外にも募集區域を擴大萬全を期す

青共配電班結成さる

音盤音樂會や戀愛對論會も

青年共産同盟磐城地區委員會では二十二日平市東北配電事務所會議室で全委員會配電班の結成式を擧げ、終つて靑年部及び婦人部合同の戀愛問題對論會及びレコードコンサート等を催した

萬年筆大量入荷、
岡萬年筆店
平市　電　九

おまたせしました
實用びよう風
二枚折、六枚折、枕屏風
各種入荷致しました
平市六丁目大通り
さかいや商店
電四八五番

交換
カメラと材料
平警察署前通
平の茂木
賣買
カメラ不足につき
最高價格で
頂戴いたします

◆開業御挨拶◆
この度レントゲンを新設し左記に開業いたしました今後とも一層の御交誼をお願ひ申上ます
平市一丁目四九（公會堂通り）
内科
レントゲン科
谷口醫院
電話八番
谷口孝雄

ー銀座街の
阿康（アコウ）へ…
家庭醫藥品の御用はー
平市田町
電44番